

第15回

英文 E メールを書こう

講師

阿野 幸一

◆◆◆ 今回の目標 ◆◆◆

Eメールはだれもが手軽に英語でコミュニケーションできる手段として、日常的に使われるようになりました。その便利さの反面、顔を合わせた会話とは違うので、内容が伝わりにくいメール文にならないよう様々な注意が必要となります。

英文 Eメールならではの基本的な作法について知り、海外の人と簡単な文章でいいので、やりとりできるようになりましょう！

1 Mana からの返信メール



英文 Eメールの基本的なスタイルを知ろう！

Manaからの返信メール

From: Ozaki Mana ①  
To: Kate Wilson  
Sub: Re: I saw a miracle!



Dear Kate, ②

Thank you for your e-mail. I'm glad that you enjoyed your vacation in Bolivia. The photo of Salar de Uyuni is fantastic! The flat really looks like a big mirror. I want to go there and see it someday. I attached a photo of Mt. Fuji in Japan. I hope you like it. It's similar to your photo because the surface of the lake is reflecting the mountain. However, you can't walk on the surface of the lake. :D ④

Please send me another interesting photo from your vacation!

Your friend, ③

Mana

## 2 英文 Eメールの特徴



紙の上に書く手紙の文章とは、どんなところが違うのでしょうか！

- ① メールの上部に、送り主の名前、送る相手の名前、そしてメールのタイトル (Subject) が自動的に添付されます。タイトルは、読む人が何に関するメールが送られてきたのかすぐにわかるように、なるべく具体的に、そして4~7語程度に短くまとめるのがコツです。Manaのメールの場合は自動的に、I saw a miracle! の返事と表示されています。
- ② 手紙文と同じように、たとえば Dear Kate, のように始めて問題ありません。ただし、親しい人や友だちへのメール文では、Hi Kate, としたり Kate, のように相手の名前だけにしたりすることが普通です。
- ③ また文末の言葉には、手紙文と同じようにフォーマルな Sincerely yours, Best wishes, Regards, などが使われるほか、Good luck, Take care, See you soon, Your friend, など、よりカジュアルな表現を使うことがEメールでは多くなってきています。
- ④ 英文メールでは、たとえば笑顔を表す :) :D などの顔文字も使われますが、顔が横向きになっています。日本人同士ならすぐにわかる顔文字でも、文化の違いから外国の人には理解できないものもあるので注意しましょう。

### 3 日本語とは違う文章構成で書こう!



起承転結など、日本語の文章の組み立て方で英文を書くと伝わりません!

日本語の手紙では、季節の挨拶からまず始めて、一番伝えたいことはなるべく後の方に書くという傾向があります。英語の文章では反対に、大切なことは最初に書かないと伝わりません。前置きは少なくするなど、まわりくどい印象を与えないようにしましょう。

#### 「ここが伝わらない! 日本人の書く英文 E メール」

日本語の文章構成として「起承転結」という型があります。まず、話を切り出してから、話題を続け、その話題を転換させて、最後に一番伝えたい結論が来るというものです。日本語で書かれた手紙や E メールでも、この文章構成に沿って書かれている場合が少なくありません。さらに、手紙や E メールでは、季節のあいさつなどから文章を始めるため、本題の用件について述べるのが、文章の後半になります。

こうした文章構成に則って日本語で書いた文章を、翻訳機などでそのまま英語にしたらどうでしょうか? その英文を読んだ英語のネイティブスピーカーは「なにを伝える文章かわからない」という感想を持ちます。これは、英語の文章構成が日本語のものとは異なるためです。つまり、英語を使う文化圏で生活をする人たちは、最初に用件がわかった上で、その先を読んでいくことに慣れているためです。

もちろん、日本語の文章構成と英語の文章構成のどちらがいいということではありません。これは、言葉の持つ特色や、その言葉を使っている人々の文化が関係しているために、こうした違いがあるのです。お互いにミスコミュニケーションをおかさないためにも、こうした違いを理解して、文章を書くときに注意していきましょう。



## 4 英文 E メールを書こう！



仕事で英文Eメールを使っている人は普段、どんな工夫をしているんだろう？

大手電機メーカーに勤める本多義則さんに英語のメールだからこそ気をつけたいポイントについて教えていただきました。

私がEメールを出す相手は忙しい人が多いので、1日に100通以上のメールを処理しています。ですからじっくりと読んでもらえないと思っているので、なるべく短くコンパクトに、すぐに用件が伝わるような形で書くことを心がけています。具体的には、パソコンでスクロールしなくても全体が見えるような、10行ぐらいの分量にします。



書き出しも日本語のメールですと季節の挨拶だけでなく、メールを送ることになったそもそもの事情など周辺の説明から入っていくことが多いですが、用件は早目に書くことが大切です。なぜかと言うと、英語圏の人は最初に用件が書かれていることを期待しているので、イライラさせてしまうことになりかねません。

また、たとえば聞きたい事が3つあるときなどは、質問を箇条書きにして簡潔に伝えるようにしています。だらだらと書いてしまうと最後まで読んでもらえず、1つ目の質問だけに返事をくれることもあるからです。友だち同士などのメールでも、見やすく整理された画面になるよう工夫してみてください。

Eメールはいったん送信してしまうと、もう取り返すことは出来ません。スペルミスとか、間違った英語になっていないか？ 同じ内容を伝えるのにも、もっと短く簡潔な表現にできないか？ 誤解を受けるような表現になっていないか？ 受け取った人の立場で見直してみることが、何より大切です。

英語でEメールを出して相手から返事が来ると、とてもうれしいですね。機会を見つけて是非一度海外の人とやりとりしてみると、とてもいい経験になると思います。

### 世界で使われている英語

地球上では様々な英語が使われていますが、World Englishes（世界の英語たち）という考え方から、大きく次の3つに分類されています。

- ① 英語のネイティブスピーカーが使っている英語
- ② 英語を公用語として生活の中で使っている人たちの英語
- ③ 外国語として学んでいる英語

私たちは学校の授業などでは、①の英語を勉強していると思います。しかし、実際の英語使用を考えると、②や③のように、英語を母語とする人たち以外とのコミュニケーションの機会の方がずっと多いのが現実です。

お互いの母語が違って、英語を通してお互いを理解しあったり、一緒に仕事をしたりすることができるのです。英語には、そのような人と人をつなぐ大切な役割があるんですよ。



目的外的の  
使用禁止